

【朝霞園】 造形遊びドキュメンテーション

2025.11.5



《発見！！》

『ぱきっ ぱきっ』と音がするよ。
半分、また半分とどんどん小さくなっていく。
小さく、小さくなつてもう割れなくなつたよ。

1歳児



《くついたー！！》

ふわふわやわらかい粘土
まるめたりちぎったり
『うわー くついたー！！』
1歳児



《入るかなー??》

廃材の中からみつけたものは
2本のストロー!
色も太さも違うストロー
この中に入るかなー??
1歳児



《にゅるにゅるー》

絵の具を混ぜてみたよ
赤と青の絵の具を混ぜたよ
粘土もおてもにゅるにゅるー
お顔にも付いちゃった
1歳児

①

1歳児の姿ー【確かめる】から始まる世界

粘土を丸めたり、ちぎったりして感触を楽しむところから遊びが始まりました。ひとりの子がボードを割った時の『ぱきっ』という音に気づき、何度も繰り返して楽しむ姿が見られました。その様子をみた他の子も真似をし、ボードが割れなくなるまで音と手ごたえを味わっていました。

1歳の出会いは【確かめる】ことから始まります。
それは世界を知るための大切なプロセスです。



《 どんどん、どんどん》

大きくなばした粘土

『これさしてみようかなー』

木の棒にストロー

どんどん、どんどんさしてみようっと

2歳児



《 むぎゅむぎゅ、もみもみ》

絵の具の中に粘土をいれてみたよ！

なんだかぬるぬるするね

むぎゅむぎゅ、もみもみ

粘土の色が変わったね！

2歳児



《 いれてみようっと！！》

大きな白い粘土

赤い絵の具をいれてみようっと！！

くぼみにどんどんたまっていくよ

2歳児



《 色を重ねると》

もともと『赤、青、黄色』三色の絵の具

赤の上に青、青の上に黄色

何度も色を重ねると

どんどん色が変わっていく！

2歳児

2歳児の姿ー【こうしたらどうなる？】を楽しむ世界

絵具の色が混ざる変化や粘土に色がつく様子を『どうなるかな？』と試しながら、楽しんでいました。触る・こねる・丸めるなど、素材に向き合う中で《探索》と《探究》が自然に育ち、ひとり一人が自分のペースで集中して遊び込む姿が見られました。大人が手を出し過ぎず見守ることで子どもは自分のやりたいことにじっくり向き合い、《満足感》《納得感》を味わいながら遊びを終えることが出来ます。

これからも子ども達の『やってみたい』を大切にし、主体的な遊びを見守っていきたいと思います！！